

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		学習支援講座				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 平成 28 年度		
		[小 柱]					[終了予定] 平成 - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	学習支援講座「ステップアップ」実施要綱					
	事業対象	台東区立中学校(1～3学年)生徒のうち希望者							
	事業目的	経済的負担によらず、基礎学力の定着を必要とする中学生のうち意欲のある者を対象に、民間教育機関の人材を活用した講座を実施し、補充学習の機会を提供することで基礎学力の定着、学習意欲の向上を図る。							
	事業内容	台東区立中学校生徒のうち、自己の学力向上を図ろうとする意欲のある生徒を対象に、民間教育機関の学習講座を実施する。							
委託の有無	全部委託	委託内容	台東区学習支援講座「ステップアップ」実施委託						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	参加生徒数	(名)	180	-	-	174		
		意欲向上率	(%)	80.0	-	-	49.0		
	成果指標								
	決算額	(単位：千円)					-	-	1,141
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)				-	-	1,338	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				-	-	1,141	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				-	-	0	
		総経費				-	-	2,479	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				-	-	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				-	-	0			
一般財源(区負担額)				-	-	2,479			
前回評価から改善した事項	28年度開始事業								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	区内の学力格差を是正するためにも、生徒の意欲・成績向上のきっかけをつくる本事業は必要である。						
	効率性	3	区保有施設を利用しコスト面を抑えている。また、指導ノウハウを蓄えた教育指導専門業者に委託しており、効率的に行うことができている。						
	手段の適切性	3	補講講座が必要な生徒をレベル別クラスに分け少人数で指導しており、手段は適切であるといえる。						
	目的達成度	2	事業開始初年度であり、まずは成果指標達成を目標に事業を進めていく必要がある。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持		
28年度開始事業であり、指導内容や事務管理体制を改善していくことで次年度のよりよい結果につながるが見込まれる。1、2学年の生徒も引き続き受講しているため、本事業を継続し長期的な目線で本事業を運営する必要がある。						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			